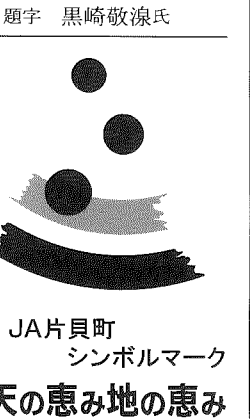


発行所 片貝新聞社
〒947-0101 小千谷市片貝町10367-4
TEL 0258-84-3246
FAX 0258-84-2632
編集発行人 吉原芳郎
印刷所 吉原印刷機



J A片貝町年末恒例の 片貝の10大ニュースが決定する

一位は本田善治翁胸像建立

J A片貝町(友田明石組 合長)が実施した「平成11年の10大ニュース」のトップは、「本田善治翁胸像建立される」だった。
J A片貝町は毎年春に、広く町民からアンケートを募り、多い項目順に並べて大晦日の昼と夕方の二回、J A片貝町の有線放送で発表している。今回の応募は26通あり、全員に参加賞が贈られた。
一位は「本田善治翁胸像建立される」だった。おまわり善治」としてその名は片貝のみにとどまらず、市内でも有名であったが、

新しい年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。
誰でもそうだが新しい年を迎えると今年こそ何かいいことが...と期待を抱く。
不況も九〇年代に入ってから始まり二〇〇〇年を迎えた現在でもまだ続いている。政府は財政赤字をものともせずがむしやりに経済再生への底あげを狙っているようだが、肝心の一般消費が伸びず発表された数字は幾分上向きしているように見えるが、実感としては少しもそうではない。戦後五〇年余如何にない況とはいえあの終戦当時

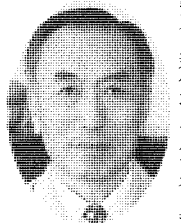
主張

今年はいくつかの課題や医療の一部負担増さらに年金の見直しなど、これらをどうも憂鬱な話ばかりで、殊に高齢化人口が急速に進みつつある片貝にとっっては決して明るい材料ばかりとはいえない。
しかしこの片貝に住んでいると、バブルがはじけて倒産が続出するとか、リストラによる失業者が急増中といった世間並みの

佐平治翁の遺徳が歌に

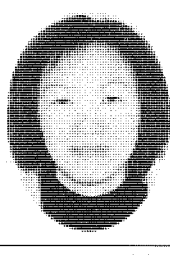
高梨の山崎さん等が作る

高梨の山崎氏(59、日波会に所属、各種大会で活躍)が唄つての「カセット」は、郷土の唄の作詞を趣味のひとつとしているが、このほど片貝の佐平治翁の物語をモチーフとした「佐平治の安達美登里さん」(エレク トン教室経営)に、その詞に合わせた作曲を依頼、義弟の新保功氏(千谷、穂原芳郎氏から、佐平治翁の



高梨の山崎氏(59、日波会に所属、各種大会で活躍)が唄つての「カセット」は、郷土の唄の作詞を趣味のひとつとしているが、このほど片貝の佐平治翁の物語をモチーフとした「佐平治の安達美登里さん」(エレク トン教室経営)に、その詞に合わせた作曲を依頼、義弟の新保功氏(千谷、穂原芳郎氏から、佐平治翁の

中越中学新人大会で 片貝中が4回目の優勝



第11回中越地区中学校新人バスケットボール大会兼第14回B S N杯新潟県中学校新人バスケットボール大会が去る12月5日(日)小千谷総合体育館で開催され、片貝中学校が4回目の優勝を挙げた。
この大会は中越各地の中学校から52チームが参加し、4ブロックで予選トーナメント戦が行われ、Cブロックの片貝中はシードされた。二回戦から登場、二回戦若宮中を109対22、準決勝は見附中を71対33で戦い、Cブロックの決勝戦で長岡大島中と対戦して57対42で勝利し、決勝リーグに進んだ。12月5日4チームによる決勝リーグ戦が行われ、片貝中は堤岡中を61対46、宮内中も60対34と大差で勝ち、長岡東北には苦戦したが62対59で勝利し、3戦3勝の成績で優勝して県大会に駒を進めた。なお、中越地区中学校新人

仕事と育児の両立支援

両方丸ごと楽しもう!

仕事と育児の両立支援センターが小千谷市、21世紀職業財団新潟事務所主催、新潟女性少年室後援で去る11月27日(土)午前10時から、ふれあい公園忍亭で開催された。
この催しは仕事と家庭の両立のため、あらかじめ育児をサポートするさまざまな法律や制度を知ったり、必要な知識を身につけ、仕事と育児の両立を応援するための支援セミナーで、当日会場には仕事と子育てに忙しい、若い主婦40名前後が参加して、ビデオ「新しい生き方を見つめよう」(前県立女子短期大学付属幼稚園主任)の講義「仕事も育児も、まるごと楽しもう」に耳を傾け熱心にメモし真剣に取り組んでいた。高橋さんは「家庭で肌をとおして、可愛がって育てている子供は安心して気持ちで、日常生活がおくれるの、父母は子供の発達過程で、手間暇をかけて、色々なことを愛情こめて教え、子供の側にたつて、我が子にとって今いちばん

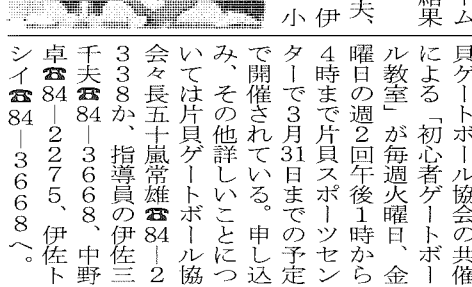
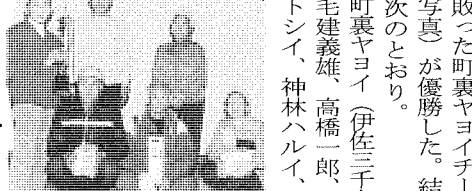
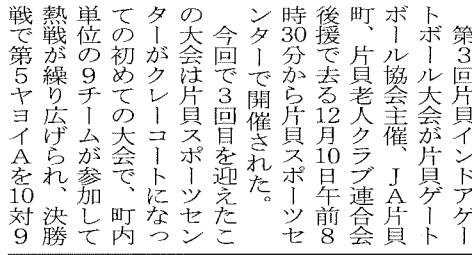
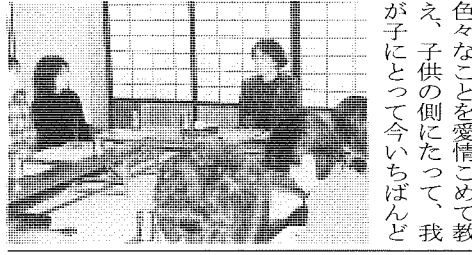
今年最後の読み聞かせ

クリスマス特別企画 子供達は大喜び

小学校低学年を主な対象に絵本や紙芝居の読み聞かせのボランティア実施の読み聞かせ会の平成11年最後の活動が去る12月11日(土)午後1時30分から片貝支所二階ホールで「クリスマス特別企画」として開催され、40名前後の子供たちが参加して、楽しいひとときを過ごした。
オープニングの「きよしこのよる」につづいて、手作り大型紙芝居「火の鳥、

第3回 片貝インドアゲート大会

第3回片貝インドアゲート大会が片貝ゲートボール協会主催、J A片貝町、片貝老人クラブ連合会後援で去る12月10日午前8時30分から片貝スポーツセンターで開催された。
今回で3回目を迎えたこの大会は片貝スポーツセンターがクレートコートになった初めての大会で、町内単位の9チームが参加して熱戦が繰り広げられ、決勝戦で第5ヨイAを10対9

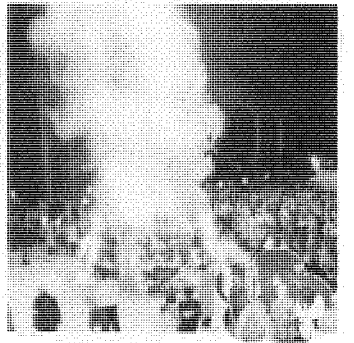


かたかい春秋
謹賀新年。
時はよどみなく進んでい争をしかけて、否しかけをを生んでいる。自己責任の欠如で、何でも人のせい、特に公に頼ろうとする姿勢が蔓延している。社会主義国より社会主義的と揶揄する声もある。
▼一挙には無理ではあるが、二〇〇〇年からは、これらの問題点をひとつひとつ解消して行く「時」でありたい。日本の常識は世界の非常識と、言われることなきやう、会平等であればいい筈が、ひとつひとつ是正の努力が必要と思ふ。

映画「ジャングル大帝」、手あそび、ゲームなど沢山のメニューで盛り上がりつつあった。なお、読み聞かせ会は1月と2月は休みで3月下旬頃から再活動する予定。

ふるさと カレンダー 出来たヨ

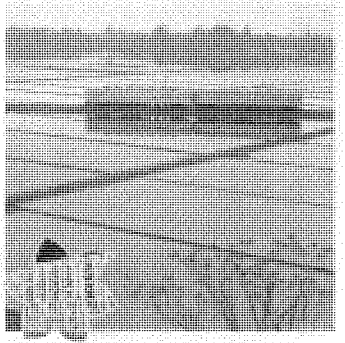
片貝商工振興会(遠藤充会長)は、このほど浅原神社や片貝祭りへの懐かしい写真を使って「ふるさと片貝のカレンダー」を作製した。これは東京片貝会(阿部修次会長)の強い要望に、片貝商工振興会が応えて三百部限定で作製した。一月・二月は寒の神、三月・四月は浅原神社境内の満開の桜と旧片貝小学校体育館、五月・六月はありし日の魚沼線、七月・八月は片貝まつり筒引きのバレンと東京片貝会総会風景、九月・十月は四尺玉花火、十一月・十二月は雪化粧の浅原神社とありし日の片貝中学校木造校舎を載せている。



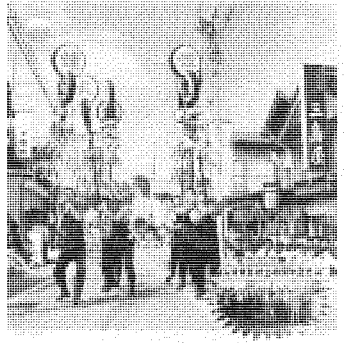
1 2
1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29



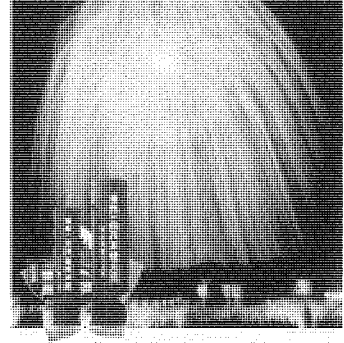
3 4
1 2 3 4 5 6 7 8 9
10 11 12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 31



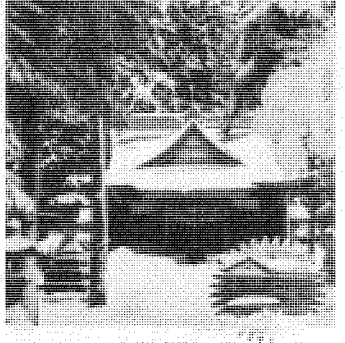
5 6
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27 28 29 30



7 8
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29 30 31



9 10
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29 30 31



11 12
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29 30 31

税とわたしたち

片貝中学校二年 山口 亜希子

消費税が5%になりました。いやだなあ、どうしてこんなに払わなくちゃいけないんだろう。」と、大人の人、もちろん、わたしの親も税金をたくさん納めていますが、家にはそんなに税金がないから、払わなくともいいじゃないか。」



この作文を書くために、お父さんやお母さんに税の使い道を聞いてみましたが、あまりおもしろくない。お父さんやお母さんに、税金の使い道を聞いてみましたが、おもしろくない。

その時の医療費に税金が含まれているのを知り、とてもおどろきました。もし、そのお金を、「家で払って下さい。」

税についての作文、県納税貯蓄組合連合会優秀賞

年生のとき、おばあちゃんが急に頭が痛いと言いつつ、病院に連れていって、蜘蛛膜下出血と診断され入院することになりました。

とわたくしは、高くて払えないと思います。税金と一緒に払うのは、いいけれど、働いていない医師や看護士だって、給料をもらって生活している。だから、税金は払う必要がある。こうやって考えてみると、税というのは、人の命を救う役割をしているのじゃないかと思いました。もう一つ、「税ってありがたいな。」と感じたのは、小中学校のわたくしに使用されている税です。わたしは、勉強は嫌いです。でも、学校は大好きです。たくさん友達と一緒に遊んだり、毎日楽しく過ごせるから、それだけでもいいかな。

新春 アンケート

読書離れ、活字離れが指摘されて久しい今日、本当の実態はどうなのであるのか。世末にあたり、その人にとつてに残る一冊は何かを聞き、後進に伝えることを目的にアンケートを試みた。願不問。

△あなただの人生に影響を与えたり、感動したりした心に残る一冊の本を教えてください。

△その理由やエピソードをお聞かせ下さい。

△最近では「五体満足」「最近では「五体満足」

△最近では「五体満足」

△最近では「五体満足」

△最近では「五体満足」

△最近では「五体満足」

△最近では「五体満足」

△最近では「五体満足」

△最近では「五体満足」

△最近では「五体満足」

△最近では「五体満足」

△最近では「五体満足」

△最近では「五体満足」

△最近では「五体満足」

△最近では「五体満足」

△最近では「五体満足」

△最近では「五体満足」

△最近では「五体満足」

△最近では「五体満足」

五木寛之著「大河の一滴」

「海へと注ぐ大河の水の一滴が私たちの命だ」この言葉は、まさに他力!

△最近では「五体満足」

△最近では「五体満足」

△最近では「五体満足」

※4面へ続く

